

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		スマイル				公表日	2025年 3月 15日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		基準は満たしており、利用定員10名に対し活動エリアの工夫をし、安全に過ごしやすいようにしています。	基準は満たしているが子ども達の成長により狭く感じることがある。必要な時は仕切りを設ける等工夫をしています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		職員の配置は適正にしています。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		基本的な事業所内のバリアフリー化は行っています。手洗い場の手すりや玄関等の段差のスロープなどの設置しています。	車イスのままトイレに入れないが、手すり等をつけ配慮しています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		活動後の清掃は、マニュアルを作成し日々必ず行っています。また、活動に合わせレイアウトを工夫しています。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	1	パーティション等を活用し、狭いが空間が分かれるように工夫をしています。	落ち着ける場所はあるが、中高生には少し狭いです。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7		支援計画に沿い、ケース会議やミーティングを行い目標を共有しています。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		年1回実施し、課題を共有しています。また、送迎時にも情報発信するように心掛けています。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		ミーティングや朝礼にて機会を設けるようにしています。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7		外部研修を含め、提携事業所と年に数回行っています。定期訪問等にてアドバイスをもらうようにし、日々の支援や業務に反映させています。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		オンライン研修や動画視聴を活用しています。内容を共有し合い質の向上を図っています。	個人のスキルアップや情報共有のため研修等に参加しています。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7					
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7					
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7					
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7					
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		全職員共通の書式を使用しアセスメントしています。			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		ガイドラインに基づく支援を念頭に、適切な支援内容を設定することに努めています。			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		意見交換を行い活動内容を決め全職員で立案を行っています。	朝礼やミーティング等で確認し担当者が進めるようにしています。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		日案、週案、月案、イベントは季節ごとの活動を考え、固定化しないよう企画しています。	活動の曜日をズラすなどして固定化しないようにしています。また、職員で話し合い工夫を継続します。		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		個別の課題や、集団活動の両方を組み合わせ、計画を作り職員で共有しています。			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		朝礼等でミーティングを行い活動内容や支援内容を確認しています。	チームで連携が取れていない部分は役割を決めて対応しています。		

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		支援経過記録表を記入し、終礼等でミーティングを行い支援方法を職員で確認し合っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		複数の職員で内容を確認し、適宜、支援の検証・改善に取り組むと同時に、支援に対しての記録になっているか定期的に見直しをしています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		計画の見直しを行い変更点があれば職員で話し合い共有しています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	7			
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7			
関係機関 や保護者との 連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		管理者・児童発達管理責任者が中心となり参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1	現在医療的ケアが必要なお子様は通していませんが、今後必要性が見込まれる場合は適宜対応していきます。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		電話や直接会い話をしながら情報共有を行い連携を取り合っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7		電話や直接会い話をしながら情報共有を行い連携を取り合っています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7		必要に応じて情報交換をしています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7		専門機関と連携を行い、日々の業務に繋がっています。外部研修を含め提携事業所と年に数回行っています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	2	5	感染対策を取りながら、児童館や子育てサロンを利用し、地域の方々との関わりを持つようにしています。	交流の機会を作れていません。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7			
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		送迎時や連絡ノート、面談などで日ごろのお子様の様子を伝えています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	3	家族支援として、お子様の発達を促す方向性や手立てをご家庭と連携して支援しています。	今後保護者会等を計画予定しています。
保護者への 説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		主に契約時に説明しています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		保護者の意見や本人の希望を取り入れ、同意を得た上で署名をお願いしています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		送迎時に話を聞いたり連絡ノートなどで悩みを聞き助言を行っています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	2	5	コロナ禍のため機会がありませんでしたが、お子様を通して保護者同士の連携を希望された場合に支援していきます。	来ていないため、今後企画していく予定です。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		重要事項説明書に苦情の受付について記載しており、発生した時には迅速に対応しています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7		毎月通信を発行し、情報を発信しています。又ホームページのブログでの発信も行っています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		雇用契約時に必ず個人情報守秘義務契約を結び注意しています。	

	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		お子様のそれぞれの特性に合わせて、配慮を行いながら支援をしています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	6	コロナ前は行っていたが、それ以降実施できていない。	行えていないが、規模として地域住民の招待は難しいと思われるため、ブログ等の情報発信で補足していきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		策定しております。保護者には緊急連絡先を聞いており迅速な対応準備もしています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		月に一度のペースで避難訓練等を行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		利用時の聞き取りや調査票の記入をお願いし、職員で共有しています。	更に契約時に確認しています。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	3	調査票の記入や聞き取りは行っていますが、現在医師の指示書に基づくアレルギーケアが必要なお子様は通所していません。今後必要性が見込まれる場合は適宜対応していきます。	現在該当者がいないため実施していませんが、新規契約時には確認するようにしています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		ヒヤリハット報告書を作成して全職員で共有しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		オンライン形式の研修を職員全員受講しています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7		身体拘束については保護者に対し、契約時に重要事項説明書を用いて説明しています。実際に身体拘束を行う事はなく児童発達支援計画に記載する事案はありません。		